

3年次演習

第2回
研究論文の読み方

人間科学科コミュニケーション専攻
白銀 純子

今回の内容

- *論文とは?
- *論文の種類
- *論文の読み方

論文とは？

「論文」とは？

*研究者たちが研究の内容をまとめたもの

*分類

- ✓ 学位論文
- ✓ ジャーナル論文
- ✓ プロシードィング(Proceeding)
- ✓ ポジションペーパ
- ✓ レター論文
- ✓ サーベイ(レビュー)論文

学位論文

- * 学位(学士 or 修士 or 博士)を取得するためにまとめた論文
- * 各大学に提出し、大学が保管
- * おおむね数十ページ
- * 大学により、公開されている場合と非公開の場合
 - ✓ 入手できる場合とできない場合どちらもあり

ジャーナル論文

* 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文

✓ 論文誌: 学術雑誌とも

* 研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されたもの

* 複数の第三者から査読され、認められたもの

✓ 査読: 第三者によって論文が読まれて評価されること

* 一般的には他の分類の論文よりも査読が厳密で、質が高

✓ ただし、質は掲載される論文誌のレベルにも依存

* 多くの場合、8ページ～十数ページ程度

* 研究としての終着点

プロシーディング(Proceeding)

* 口頭発表の会議で発表された論文

- ✓ 会議で発表された論文をあつめて冊子にしたものを「予稿集」または「プロシーディングス(Proceedings)」

* 研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されることもあり、評価・考察まではないものもあり

* 第三者からの査読がされる場合もされない場合もあり

- ✓ 査読がされる場合の厳密さは、会議のレベルに依存

* 研究のある程度の成果を発表したもの

- ✓ 考え方によっては、ジャーナル論文に向けての途中の成果

* 多くの場合、6~十数ページ程度

ポジションペーパ

*「ワークショップ」という形式の会議で発表した論文

- ✓ ワークショップ: 個々のアイデアを持ち寄ってディスカッションをする形式の会議
- ✓ 他の口頭発表の会議は、発表して質疑応答で終わり

*研究のアイデアレベルの内容が記述

- ✓ 研究の問題意識や目的が記述されていて、手法は記述があつたりなかつたり

*多くの場合査読はなし

- ✓ ワークショップのテーマに沿っている論文か、公序良俗に反しないか、程度の確認がされることもあり

*多くの場合、2~4ページ程度

レター論文

- * 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- * 速報性が重要視
 - ✓ ジャーナル論文のような厳密性(書き方や評価・考察の客觀性など)はそれほど求められない
- * 第三者から査読され、認められたもの
- * 多くの場合、2~4ページ程度

サーベイ(レビュー)論文

- *学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- *研究成果に関する論文ではなく、様々な他者の論文の紹介
- *第三者から査読され、認められたもの
- *多くの場合、8~十数ページ程度

論文の読み方

読むべき論文と見分け方は？

* 読むべき論文

- ✓ とりあえずはジャーナル論文とプロシーディング

* 見分け方

- ✓ 6ページ以上、なるべく8ページ以上
- ✓ かつ、研究の紹介に終始していない論文

ライバル論文とお勉強論文

*自分の研究テーマに照らし合わせると、論文は2種類!

✓ ライバル論文とお勉強論文

*ライバル論文

✓ 自分の研究テーマと共通する研究テーマの論文

*問題意識や目的などが共通

✓ 書いてある内容を疑って読むこと(批判的に読むこと)が必要

*お勉強論文

✓ 自分の知識を蓄えたり、研究の中で利用する手法を勉強したりするための論文

*自分の研究テーマとはまったく関係ないこともありえる

✓ 内容を理解し、自分の研究で使えるかどうかを考えることが必要

論文を読んで理解するもの

- * 著者にとっての問題意識は何か?
→ 第1章・第2章あたり
- * 研究の目的は何か?
- * 研究の対象範囲(スコープ)はどのようなものか?
- * どのような手段で目的を達成しているか?
→ それ以外(間の章)
- * 研究の結果について、著者はどのように考えているか?
→ 最後の1・2章あたり

問題意識と目的

*論文の著者にとっての問題意識

- ✓ 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか？
- ✓ 著者は、世の中の何が問題と考えているか？

*研究の目的

- ✓ 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか？
- ✓ 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか？

問題意識と目的(ライバル論文だと...)

* 論文の著者にとっての問題意識

- ✓ 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか?
- ✓ 著者は、世の中の何が問題と考えているか?

- 現状認識は正しい? → 自分が認識している現状や問題点と一致している?
- 本当にそれは問題?

* 研究の目的

- ✓ 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか?
- ✓ 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか?

- 本当にその目的を達成すると、問題解決になるの?
- なぜ、それが利点になるの?

→ 自分が問題解決のための目的や利点を考えるとどうなる?

研究の対象範囲(スコープ)

- ★ 研究の目的を達成するために、制限がついていることが多い
 - ✓ 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
 - ✓ 適用している手法
 - ✓ etc.
- ★ 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

研究の対象範囲(スコープ)(ライバル論文だと...)

* 研究の目的を達成するために、制限がついていることが多い

- ✓ 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
- ✓ 適用している手法
- ✓ etc.

➤ 対象範囲は妥当なの?

➤ 対象以外の範囲について研究するとどうなりそう?

➡ 異なる対象範囲で研究ができるか?

* 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

➡ 論文をよく読んで理解する必要!

目的を達成する手段

*論文の研究で採用している手段

- ✓ どのような手段を採用しているか?
- ✓ 採用した手段をどのように研究に適用しているか?
 - *オーソドックスに適用しているか?
 - *アレンジして適用しているか?

目的を達成する手段(ライバル論文だと...)

*論文の研究で採用している手段

- ✓ どのような手段を採用しているか?
- ✓ 採用した手段をどのように研究に適用しているか?
 - *オーソドックスに適用しているか?
 - *アレンジして適用しているか?

➤ 採用した手段は妥当か?
➤ 手段の適用方法は妥当か?  他に適用できる手段はないか?

研究結果

*研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈

- ✓ どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたと著者は解釈しているか？
- ✓ 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか？
- ✓ 今後に積み残した課題はあるか？

研究結果

* 研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈

- ✓ どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたと著者は解釈しているか？
- ✓ 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか？
- ✓ 今後に積み残した課題はあるか？

➤ 研究結果の解釈は妥当か？

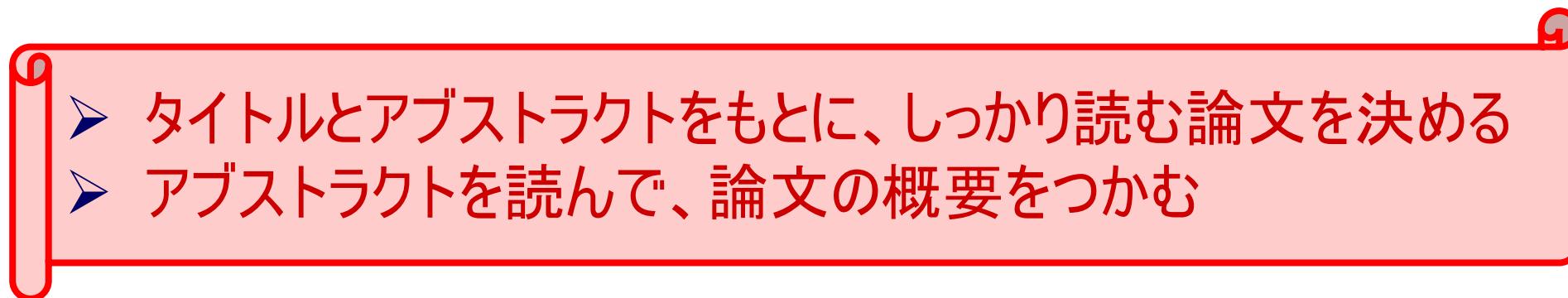
➤ 本当にその結果で、著者の目的が達成できているのか？

➡ 目的の達成できていない部分や不十分な部分、積み残しの課題などを研究テーマにできないか？

論文の探し方(1)

*まず最初にタイトルとアブストラクト(概要)!

- ✓ タイトル: 論文につけるタイトル
 - *研究テーマを簡潔に表したもの
- ✓ アブストラクト: 論文の内容を短く要約した文章



論文の探し方(2)

* 電子データがある論文

- ✓ 1つずつファイルになっていることが多いので、入手は簡単

* 電子データがない論文：掲載誌の情報をもとに入手

- ✓ ジャーナル論文：論文誌のタイトル・巻数・号数の情報が必要

* 巻数・号数：「2015年4月号」とか「Vol. 15, No. 4」など、毎月とか隔月などで出るので、番号を把握しておくことが必要

- ✓ プロシーディングス：会議の名前と開催年の情報が必要

* 毎年とか隔年などで会議が開催されるので、開催年の情報が必要

* 場合によっては、会議の開催場所の情報が必要なことも

論文の探し方(孫引き)(1)

*ある論文で示されている引用文献を入手すること

- ✓ 論文で使われている概念や手法など:「詳しい説明は、この論文(書籍)にあるよ」と、別の文献を示している場合も多い

→ 詳しく知りたいときは、その別の文献を入手する必要



第1章

...略...

ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。

...略...

「ゴールモデル」って何???

すぐそばにある文献の名前(or 番号)を見る

論文の探し方(孫引き)(2)

第1章

...略...

ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。

...略...

- 論文の最後にある引用文献リスト(参考資料リスト)を見る
- 文献の名前を探す

引用文献

...略...

(山本, 2007) 山本: ~ゴール指向による!!~システム要求管理技法,
ソフト・リサーチ・センター, 2007

...略...



求める文献の情報なので、これをもとに入手する

論文の読み方(研究テーマを決めるために)

*読むときの優先順位

- ✓ 第1章: 著者の問題意識や研究の目的、研究の利点を理解する
 - *研究の利点が別の章になっているときは、その利点の章も読む
- ✓ 最後の章: 研究結果や積み残した課題を理解する
- ✓ 予備知識の章: 論文を読む上で必要な前提知識を理解する
 - *前提知識が必要な場合に
- ✓ その他の章

まずは、研究として「何をしているか?」と「利点は何か?」を理解することが重要

論文を読み終わったら

* どこかに、読んだ内容と自分の意見、出典情報をまとめておくこと

- ✓ 論文の概要や利点・欠点
- ✓ 自分の意見
- ✓ 論文の掲載
 - * ジャーナルのタイトルや巻数・号数、出版年
 - * プロシードィングスの名前や会議の開催年
- ✓ etc.

卒論を書くときに必要になるため

- まとめておかないと、卒論執筆時に論文を読み返すことになって無駄!
- しかも、卒論では引用文献のリストの分量も重要!

やってみよう!

* 卒論CDの中からおもしろそうな論文を選んで、読んでみよう!

* 理解すべきこと

- ✓ 著者にとっても問題意識
- ✓ 研究の目的
- ✓ 研究のスコープ

* 考えるべきこと

- ✓ 研究の欠点
 - * スコープ外の内容
 - * 解決できていない問題点
 - * etc.

次回

- ＊次回：研究論文の探し方(図書館ガイダンス)
 - ✓ 情報処理教室のアカウントが必要！